
「秋のセミナー2021」オンライン開催（公開）のお知らせ（第一次案内）

働き方改革のためのカリキュラム・オーバーロードへの対応事例

企画趣旨：

学校現場は忙しい。国際的に証明もされ、働き方改革の法改正もなされた。政策による対応をさらに求めなければならないが、それぞれの現場からできるカリキュラム上の工夫はないのだろうか。ESD（持続可能な開発のための教育）やSDGsの活用、エビデンスにもとづく教育活動や業務の見直しといった学校レベルの試みを提案いただく。教育委員会や文科省との連絡調整も含めて、各提案の意義や実行の可能性について検討するとともに、参加者各人の現場の状況と課題を出し合い、何らかの打開策を見出し合える場としたい。

主催：

日本カリキュラム学会（担当：広報・若手育成委員会）

日程：

2021年11月14日（日） 13:30～16:30（予定）

報告者とタイトル（予定）：

住田昌治（横浜市立日枝小学校校長）

「持続可能な学校づくり～教職員のハッピーが子どもの笑顔になる～」

（参考：単著『カラフルな学校づくり－ESD実践と校長マインド』他、

<https://toyokeizai.net/articles/-/446225>）

森 俊郎（岐阜県養老町立小学校教務主任）

「エビデンスに基づく学校改善～働き方改革の視点から～」

（参考：共著『学校の時間対効果を見直す！－エビデンスで効果が上がる16の教育事例－』）

指定討論者

田村知子（大阪教育大学）

司会

金馬国晴（横浜国立大学）

子安 潤（中部大学）

参加費、参加資格：

無料です。公開ですので、会員以外の参加も可能です。

参加方法：

Zoomを用います。Google Formで事前に申し込んだ方に、参加方法をお知らせします。

詳細は学会HPで、後日お知らせします。

問い合わせ先：

日本カリキュラム学会事務局（jscsstaff@gmail.com）※メールアドレスが変わりました。

現在使用中のjscs@nifty.comは今年度末頃まで受信可能です。

※「秋のセミナー」は、日本カリキュラム学会の社会貢献的行事として、すべての学校関係者及び教職を目指す学生・院生、報道機関関係者、研究者に公開しています。昨年に引き続き、オンライン開催です。多数のご参加をお待ちしております。